

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や終末期に向けた方針が、入居時に説明され同意を得たままとなっており、いざ現実的な段階を迎えた入居者や家族に対する準備や職員の意思が統一されていない。	入居者の重症度も年々高くなっている現状から、全員が揃って同じ取り組みが出来なくなっていることが問題視されている。家族の意向を明確に聞き取り、今後起こるであろう事態を想定して双方で確認しつつ支援を行う。	体調の変化などが見られた都度、家族と共に今後の方針について確認をしていく場を設ける。話し合いに臨む際にはフロア会議を通じ、職員やケアマネの視点から、本人や家族の意向に沿った終末期のあり方について検討し、いざという時の意思を家族と全職員が共通認識として持つ。	12ヶ月
2	35	地域との協力関係構築を模索中であるが、現在までに行ってきたポスティングやゴミ拾い運動などへの参加程度ではグループホームとしての役割まで周知ができていない。	災害時における地域の役割として、当ホームを認知症介護の拠点として周知することにより、認知症専門集団として認識される。	運営推進会議や町内会の場で、防災会議への参加意思を伝える。また、近隣には24時間使用出来るAEDの設置がないため、ホームで購入を検討し、設置した暁には近隣住民に向けて周知や体験会の実施を呼びかける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。